

地域の「やってみたい」を応援する情報誌

みんな



オンラインの利用を考える

コロナ禍で、大切なコミュニケーションをとる方法や場が不足しています。それを補充する形として、オンラインを利用することが急速に広まってきました。地域活動を進めるために、今オンラインはどのように取り入れられ、その役割を期待されているのでしょうか。

地域での新しい コミュニケーションの形



コロナ禍での地域づくり

これまでコミュニケーションの基
本は、人と人が直接向かい合って話
すことや触れ合うことでした。しか
し、昨年来の「新しい生活様式」の
中でその概念は大きく変化します。

自粛生活が始まると、地域間の交
流が制限され、課題として孤立する
人の増加が挙げられるようになって
きました。そこで昨年春、みんなで
地域づくりセンターでは「今の気持
ち」を話すことでその解決策が見え
るのではないかとWEB座談会を
複数回開催。さまざまな立場の人の
思いや意見の共有がなされる中で、
地域がつながることの大切さが再認
識されました。同時に新しいコミュ
ニケーションの形としてオンライン
の可能性が浮かび上がりました。

続いて10月から12月にかけて「み
んなでスマホ・タブレット講座」「み
んなでオンラインコミュニケーション
講座」を開催。参加者数は高齢者
を中心に延べ470人を超え、端末
操作を学ぶ場が強く求められている
ことも明らかになりました。

たくさんの方が情報収集やコミュ
ニケーションのツールとしてスマー
トフォンやオンライン会議アプリを
使うことができるようになれば、学
び合い交流の場が広がります。さら
に地域の新しい担い手が現れる可能
性もあるでしょう。まだまだ地域活
動は停滞していますが、少しでも前
に進むために、オンラインの利用は
有効な手段となりそうです。

オンラインで見守る・支え合う

高齢者や子ども約7500人を抱
える四街道北中学校地区社会福祉協
議会は「高齢者は子どもに愛情を注
ぎ、子どもは高齢者に元気を与え
る」とお互いに支え合い、夢や希望
を共有できる地域づくりを目指して
います。

今年度は栗山地区に活動拠点を設
け「地域カフェ」「子育てサロン」「子
どもの集い」などを実施する準備が
始まりました。しかし、コロナ禍で
訪問による高齢者の見守りなど従来
の活動が制限され、地域全体に目が
届かなくなるなど状況が変化。リア

ルな場所での交流とともにオンライ
ンでつながることが急がれるようにな
りました。その準備の一環として、
センター主催の上記講座に多数の役
員が参加しました。

会長の廣崎雅俊さんは「地域がつ
ながっていく手段として、オンライ
ンだけでは希薄さを感じる人もいる
かもしれません。まずは拠点で直接
会い顔見知りになると、お互いの信
頼も増して、オンラインもうまく活
用できるのではないのでしょうか」と
話します。北中地区社協では、活動
拠点のインターネット環境の整備を
進めながらオンラインと融合させた
地域づくりが始まろうとしています。



廣崎さん（右）と地区担当の社会福祉協議会職員
の吉田さん

一歩ずつ始まる 取り組み

連絡先

ひまわりサロン旭ヶ丘
TEL : 043-375-4686
(旭ヶ丘自治会館 9 : 00 ~ 12 : 30)

ひまわりサロンみそら
TEL : 090-2942-0243 (中村)

ひまわりサロン鷹の台
TEL : 090-8942-5617 (小川)



旭中学校地区には、民生委員・児童委員協議会（以下、民児協）、地区社会福祉協議会、自治会の三者協働の「ひまわりサロン」があります。旭ヶ丘、みそら、鷹の台地区の各自治会館を「誰かに会える、お茶を飲む場所にしたい」とそれぞれ活発な活動が行われてきました。

昨夏、コロナ禍で休止していた活動がいったん再開。こんな時だからこそ情報交換や悩みを話し合う機会が必要なのはと、年に一度の三サロン合同運営会議をオンラインで行うことが提案されました。当初は経験者も少なく、不安な声が大半でしたが、試行錯誤しながらとにかくやってみようという準備が進みましたが、

12月の運営会議当日。大学生ボランティアや市社会福祉協議会がサポートし、地域医療に携わる医師や地域包括支援センターの参加も得て、三地区のサロン、出張先や自宅からと計6カ所をつなぎ開催されました。会議では、感染対策を取りながら行ったイベントの報告や新しい生活様式を意識したサロンのあり方などについて意見交換が行われ、提案も

「地域の風景」を取り戻そう

コロナ禍という脅威に覆われて1年。私たちは命を守ることを優先するために、人や地域との触れ合いを制限せざるを得ませんでした。

その一方で、高齢者や子どもの孤立など、以前からの地域課題はさらに増幅しています。今、必要なことは、身の回りにあるアイテムを活用し、地域づくりの歩みを止めないことではないでしょうか。

その手段のひとつとして、オンラインを利用してみませんか。情報収集だけでなく、会えない人とのやり取りができ、さらに新たな世界を知るツールになることも期待できます。センターでは、今後も講座などに積極的にオンラインを取り入れていく予定です。

リアルとオンライン。それぞれの特性をしっかりと把握しながら、これまであった「地域の風景」をみんなで取り戻していきましょう。

出されました。音声が途切れる、画面がフリーズするなど少々のアクシデントは笑いに変わり、和気あいあいとした穏やかな時間となりました。

旭中学校地区民児協会長 岡田はる美さんは「サロンは人が集まってこそその場です。それができない現状を補う手段としてオンラインを有効に使い、会議や情報交換を続けて地域がつながるきっかけを絶やさないうようにしたいと思います。楽しかった、また開きましようと言ってもらえたので、今回は大成功です」。



共に歌ったり体操したり。
サロンの再開が待ち遠しい。

ひまわりサロンが地域に必要とされている場だからこそ、地域づくりの歩みをオンラインが後押ししてくれるのではないのでしょうか。

ピックアップ①

オンラインコミュニケーション 支援事業



センターでは、コロナ禍で対面のコミュニケーションが減る中でオンラインツールの基礎を学び、地域の活動を止めないことを目的とした講座を開催しました。

「みんなでスマホ・タブレット講座」は、担当者が中学校区ごとの活動拠点に向き、10月27日より初級・中級を各12回開催、延べ431人が参加。講師に中川美奈さんを迎え、カメラ機能やQRコードの読み込み方など端末の使い方とインターネットでの検索方法や注意点を学びました。参加者からは「使い方を聞ける人が身近にいなかったので助かった」

「説明を聞きながら操作できて分かりやすかった」という声が聞かれました。

オンライン会議アプリZoomの使い方を学ぶ「みんなでオンラインコミュニケーション講座」は、11月27日よりゲスト編・ホスト編を各4回開催、延べ44人が参加。センターのスタッフが講師を務めました。「会議をしたい」「おしゃべりをしたい」と参加者それぞれが目標を持ち熱心に取り組みました。

地域でのオンラインコミュニケーションが広がることで地域活動の歩みが進むことを期待します。

ピックアップ②

子ども見守りサポーター 養成講座2020 「ネモネット 生きているだけでOKな居場所」



12月22日、NPO法人ネモちば不登校・ひきこもりネットワーク（通称ネモネット）理事長でフリースクールを運営する前北海さんによる講座を開催。子どもの支援者や当事者を中心に28人が参加し、不登校の子どもの思い、どんな居場所が求められているかについて学びました。

冒頭に元不登校当事者でもあった前北さんは、経験を元に「不登校であっても、存在としての人間の価値は変わらない」と示されました。

講座では講師への質問の時間も十分に取りました。「子どもたちはどういった

きっかけでフリースクールを利用し始めたのか」「親の心配や閉塞感をどのように解消したらいいのか」などの質問が寄せられ、互いの学びが深まりました。

「自立とは人に頼ること」という前北さんが贈った言葉に、参加者からは「自分の問題は自分で解決したい、という言葉がとても響いた。子どもの力を信じたい」などの感想が寄せられました。

子どもだけでなく保護者や支援者も、悩みをひとりで抱えることのないように人と知り合い、頼りながら過ごしていける地域を目指していきたいものです。

ピックアップ③

ちばユニバーサル農業フェスタ 2020 in 四街道 主催：フェスタ実行委員会 ※当センターは開催に協力



12月5日、四街道市文化センター前広場で「ちばユニバーサル農業フェスタ2020 in 四街道」が開催されました。

今年は、新型コロナウイルス感染症予防対策に取り組みながら「農業の大切さを伝え、福祉団体の活動や製品を知ってもらう」ことを目指した小さなフェスタとなりました。

あいにくの冷たい雨の中でしたが、来場者はおよそ700人。福祉団体、農業関係者、NPOなどの22団体による17

のブースには、新鮮な農産物、地産地消にこだわった手作りのお菓子・加工品、雑貨・手工芸品などが並び、たくさんの人が買い物を楽しみました。

「コロナの影響で、納品先・販売先が少なかったで大変助かった」「目当ての物がやっと買えた！と言われて感激した」などの出展者の声。あちこちで来場者や出展者同士の温かな交流や出会いがあったようです。

みんなで27号

表紙の写真：オンライン会議アプリを使ってひまわりサロンの合同運営会議を行った皆さん

編集・発行：四街道市みんなで地域づくりセンター（四街道市政策推進課分室）

所在地：四街道市大日396 四街道市文化センター1階

開館日時：火～金9：00～20：00 土9：00～17：00

（休館は日・月・祝日・年末年始）

電話：043（304）7065 メール：info@minnade.org

発行日：令和3年3月1日 発行部数：2,000部

ホームページ



Facebook

